

活動報告書 GLOBEPROJECT

Activity Report 2007
2006年6—2007年11月



Sports change the world

楽しいだけじゃ、
つまらない。

楽しむことが
誰かのために。

スポーツのチカラで。





- 1 代表挨拶
- 2 団体概要
- 3 活動内容
- 4 GLOBE PROJECT発足の経緯
- 5 メンバー
- 6 大会開催の経緯
- 7 活動実績
- 8 地雷除去先との関係
- 9 収支報告
- 10 パブリシティ
- 11 サポーター
- 12 大会風景



1 代表挨拶



GLOBEPROJECT
代表 菅原 聡

小学校のころからずっとラグビーをしていました。毎日のきつい練習や試合前の緊張、悔しさや歓喜とともに人間としての成長、生涯の仲間、本当にたくさんのものをスポーツからもらいました。世界一周をする中で、これまで見たことのない現実を始めて目の当たりにしました。自分には、何ができるのか。大好きなスポーツを通して、この現実と向き合いたい。そんな思いからGLOBEPROJECTを創めました。

発足当時、1万㎡の地雷原除去と5回の大会開催という目標を掲げました。この目標を1万8千㎡の地雷原除去と6回の大会開催という形で達成できたことを大変嬉しく思うと共に、ご協力いただいた皆様に心から感謝を申し上げます。

この活動を通して、スポーツの持つ可能性をますます強く実感しています。地雷、貧困、紛争、環境問題・・・その問題原因はひとつでなく、解決の糸口すら、見出せないことも少なくありません。地雷を誰が作ったのか、誰が埋めたのか、誰の責任なのか。責任の所在。それも大事だけれど、いつだって必要なのは否定や非難ではなく、前向きに現実を変えていく想像力だと思います。

フットサル大会に参加することで、確実に変わる現実があります。もっと多くの人に気付いてもらえれば、少しずつでも変わる現実があります。スポーツは、もっともっと大きな可能性を持っています。もちろんこの活動がすべての問題を解決するわけではありません、しかしこの活動で地雷がなくなり、安心して走り回れる場所ができていくことも事実です。GLOBEPROJECTは現実を変え、そして未来を考えるきっかけになればと思って活動しています。これからもGLOBEPROJECTは大会を続けて行きます。今後ともGLOBEPROJECTを宜しく願いいたします。



GLOBEPROJECT
新代表 栗原 寛

この度GLOBEPROJECTの代表に就任致しました栗原寛です。今私には1つの大きな夢があります。それは「GLOBEPROJECTが100年間続いていく団体になること」です。地雷を完全に無くすのは100年かかると言われています。GLOBEPROJECTも一過性のものではなく、継続した団体であるべきです。世界中のどこでも安心して走り回れるようになるまでは、続けて行くべき活動だと思っています。これからもスポーツを愛するすべての人を巻き込んで、地雷だけでなく様々な問題と向き合っていけたらと思います。

まずはより多くの人々の関心が少しでいいからカンボジアや地雷などに向かって行って欲しいです。「知る」ということが大きな力になると思います。多くの人の目がカンボジアに、地雷に向けば変わる世界があると信じています。と言っても日本にいる私たちがするのは、まずは思いっきり好きなスポーツ楽しむことだと思います。

カンボジアやタイで実際に目の当たりにした現状は確かに厳しいものがありました。しかしその人達はその人達で好きなスポーツが出来なくても、周りにいる人や日々の暮らしに感謝して充実した人生を送っていました。生まれた場所の環境のせいで好きなスポーツが出来ない人がいるからこそ、日本にいる私たちは今の環境に感謝し、精一杯好きなスポーツをまず楽しむべきだと思います。それが私たちにできることだと思います。その上で世界を知り、それに対して何が出来るかを考えて行くことが大切だと思います。

お陰様でGLOBEPROJECTはいろいろな人の協力で、一年間活動してこれました。まだ100年のうちの1年ですが、大きな大きな1年だったと思います。これからもGLOBEPROJECTは多くの人の夢や想いと共に、世界に起こる様々な問題に対してスポーツのチカラを示し続けていきたいと思っています。



2 団体概要

■団体名

GLOBE PROJECT

■理念

- ・スポーツを楽しむことを社会貢献につなげる。
- ・スポーツを通して多くの人に社会問題に対する新しい思考を提案する。

■概要

スポーツを楽しむ機会を作るとともに社会問題を知るきっかけを作り、また問題を解決する活動を実行する。

■事業内容

- ・フットサル大会を開催しそのコートと同じ大きさの地雷原を除去
(大会収益をカンボジア地雷除去団体PRO(元JHADS)へ寄付)
- ・大学の授業にてスポーツを通じた社会貢献の講演
- ・カンボジア現地地雷原への視察

■組織

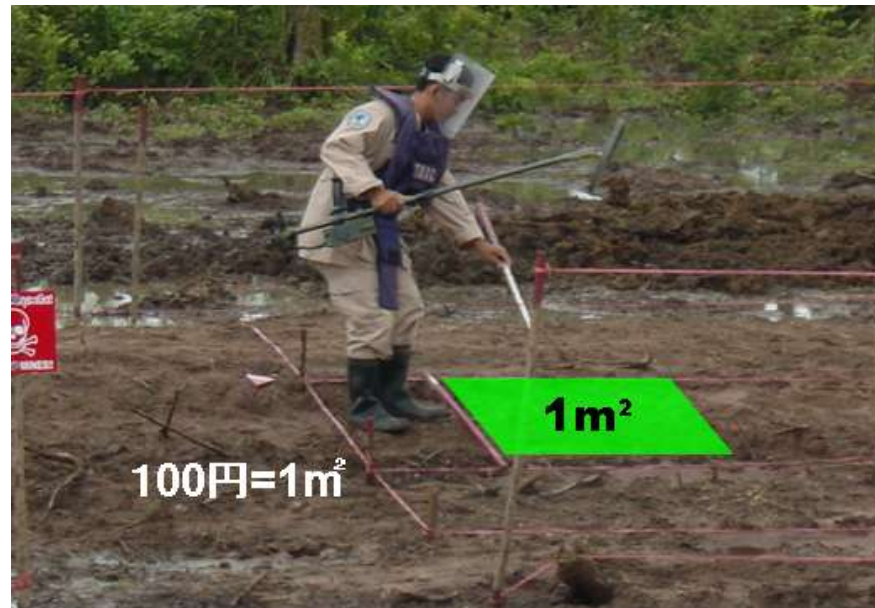
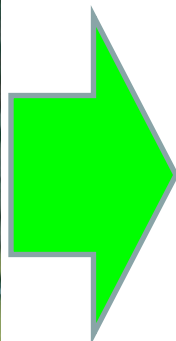
早稲田大学・慶応大学・中央大学・青山学院大学・東洋大学・恵泉女子大学・
亜細亜・日本大学・文教大学・東京学芸大学・法政大学・明治大学などの学生約50名で編成

■ご連絡先:代表 菅原 聡 080-6627-0090
sooooofine@yahoo.co.jp



3-1 活動内容

3-1 スポーツを通して社会貢献



GLOBE CUP

地雷除去

GLOBE CUP(フットサル大会)を開催し
多くの人に地雷問題を知ってもらおうと共に
参加費を通じてグラウンドと同じ大きさの地雷原を除去します。



3-2 活動内容

フットサルで地雷サル。

大会でフットサルを楽しむ



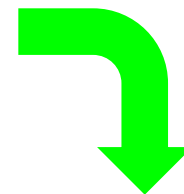
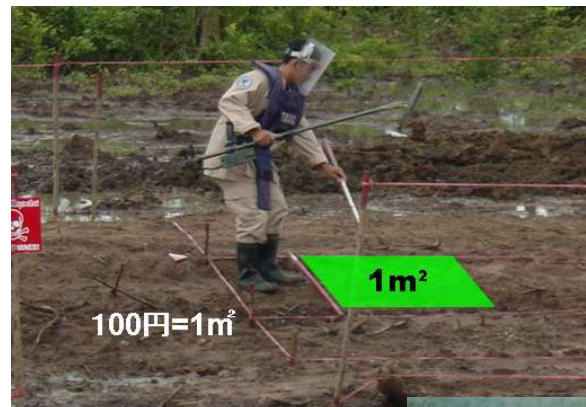
参加費が地雷除去団体におくられる



地雷原が歩ける場所になる



コートと同じ大きさの地雷原を除去。



1m²の地雷原除去費用=100円

31 × 20m²のフットサルコート=620m²(62000円) × コート数分の地雷原が
現地地雷除去団体PROを通して除去されます。

4 GLOBE PROJECT発足の経緯



2005年、代表の菅原聡は1年をかけて世界1周をしました。そこで感じた問題。

それは、帰国した後も心の中に残っていました。

「何をしているときが一番幸せ？」

津波被害にあった若者たち、貧困の村の難民の子、紛争地帯の元少年兵、大都会の公園で青年から同じ答えが返ってきました。

「サッカー」

国境を、宗教を、言葉を、人種を、すべてを越えて、スポーツを愛する心はつながることを実感しました。



























貧困、紛争、難民、少年兵、小型武器、問題の解決方法は分からない、けれどスポーツを通して、考えるきっかけは作れる。

スポーツを楽しむことを、社会貢献につなげる。

その想いに共鳴して出来たのがGLOBE PROJECTです。スポーツを愛する全ての人々が、プロジェクトを通して地球上の問題と向き合うこと。そしてそこから問題に対する新しい付き合い方を創って行きたいと思っています。

スポーツのチカラで。

5 メンバー紹介

| | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 菅原 聡 代表 早稲田大学4年 | 栗原 寛 新代表 早稲田大学2年 | 澤村 洋平 副代表 慶応大学5年 | 椎名 浩之 新副代表 早稲田大学2年 | トランティ 美佳 新副代表 慶応大学2年 | 石原 宗明 早稲田大学5年 | 都築 純一 慶応大学4年 | 丸山 真平 日本大学4年 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 神谷 隆太 早稲田大学4年 | 生駒 圭祐 文教大学3年 | 高尾 沙織 早稲田大学3年 | 小原 靖子 慶応大学3年 | 伊藤 裕己 早稲田大学3年 | 畔蒜 洋平 早稲田大学2年 | 竹内 裕貴 明治大学2年 | 澤村 友里恵 早稲田大学2年 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 久野 心平 東洋大学2年 | 保田 裕子 早稲田大学2年 | 佐藤 友希 早稲田大学2年 | 佐野 裕文 早稲田大学2年 | 丸山 弘 日本大学1年 | 崔 元美 青山大学1年 | 花宮 香織 早稲田大学1年 | 福島 創太 早稲田大学1年 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 内田 悠 亜細亜大学2年 | 米村 俊亮 青山大学1年 | 下村 幸平 早稲田大学1年 | 今井 翔 立教大学1年 | 猿渡 春菜 東海大学1年 | 秋元友加里 青山大学1年 | 西垣強司 早稲田大学1年 | 森田 悠起子 社会人 |
|  |  |  |  |  |  |  | |
| 長谷川貴彦 社会人 | 小沼まり絵 社会人 | 林 鉄郎 社会人 | 五味 雄一郎 社会人 | 宗像 洋 社会人 | 渡辺 洵子 早稲田大学3年 | 松下 雄 社会人 | 金石 浩爾 早稲田大学4年 |



同じ地球上で30分に1人が地雷の被害
83ヶ国に埋設
世界中で推定1億個の地雷

■地雷の現状

現在、世界各国に埋設されている対人地雷は1億以上といわれ、今も毎年数万個の対人地雷が、新たに埋められているといわれています。対人地雷により死傷する人の数は年間2万5千人以上、約30分に1人の命、手足、視力など

が失われていることとなります。兵器製造の技術が進み、1個3米ドル(約400円)の安さで生産され、ハイテク技術によって1分間に1,000個以上もが散布されてきた地雷。それを撤去するには、ほとんど100%手作業によっているのが現状です。

■地雷の特徴

1. 無差別性

被害に遭う人は、老若男女を問いません。傷つける相手を選ぶことが無く、無差別に人を傷つける兵器です。被害者の80%は非戦闘員、その3割は14歳以下の子どもたちです。

2. 半永久性

一度埋められた地雷は半永久的に作動し、誰かが踏むか、取り除くまでなくなりません。戦争や紛争が終わっても、効力は基本的に衰えることはありません。

3. 残虐性

対人地雷は、殺すことよりも怪我をさせることを目的に開発された兵器です。相手を殺さないことで、周りの目撃者に精神的打撃と恐怖心を起こさせ、また相手に経済的負担を与えるという残虐な意図を持っています。



将来の夢はサッカー選手



■同じ将来の夢

カンボジアの子どもたちの将来の夢の多くは、
日本の子どもたちと同じサッカー選手でした。
大人の理不尽な理由で、
夢を失ってしまう子供が一人でも減るように。
そんな思いから
GLOBE CUP(フットサル大会)は誕生しました。

■現地への視察

2006年6月、代表の菅原と副代表の林は
カンボジアの地雷原へ視察に行きました。
子供たちがボール遊びをするすぐそばに、
ラインテープで仕切られただけの
地雷原が広がっていました。
10年以上も前に紛争の終わった場所に
地雷だけが残っていました。
地雷は誰かが踏むか、
誰かが取り除くまでなくなりません。



7-1 活動実績

2006年10月～2007年11月まで全6回大会を行いました。



| | |
|------------------|--|
| 2006年6月3日 ～7日 | タイ、カンボジアへ地雷原視察 |
| 7月2日 | 視察発表 & キックオフイベント |
| 10月19日 | 第1回イベント開催 @とどろきアリーナ |
| 12月24日 | 第2回イベント開催 @千駄ヶ谷フットサルコート |
| 2007年3月25日 | 第3回イベント開催 @日々谷シティフットサルコート |
| 6月23日 | 第4回イベント開催 @南町田インドア球's倶楽部 |
| 8月18日 | 第5回イベントGLOBEPROJECT SUMMER FESTA2007開催 @アミノバイタルフィールド |
| 9月3日～11日 | タイ・カンボジア地雷原現地視察 |
| 11月2日 | 第6回イベント開催 @早稲田大学(体育祭公式行事) |

7-2 活動実績



第1回GLOBE CUP

10月19日

場所 とどろきアリーナ
時間 18:00~20:30
対象 20代
大会費 1チーム¥18,000
参加 12チーム

【協賛して下さった企業】
(株)フォトクリエイト様
大塚製薬(株)様
JOGARBORA様
ASIAVOX様
LOTTO様

第2回GLOBE CUP

12月24日

場所 千駄ヶ谷フットサルコート
時間 13:00~20:00
対象 20代
大会費 1チーム¥18,000
参加 16チーム

【協賛して下さった企業】
プーマジャパン(株)様
(株)フォトクリエイト様
大塚製薬(株)様
(株)JOGARBORA様
ASIAVOX(有)様

第3回GLOBE CUP

3月25日

場所 日比谷シティフットサルコート
時間 17:00~21:00
対象 20代
大会費 1チーム¥15,000
参加 8チーム

【協賛して下さった企業】
プーマジャパン(株)様
(株)フォトクリエイト様
大塚製薬(株)様
(株)JOGARBORA様
ASIAVOX(有)様



7-3 活動実績



第4回GLOBE CUP

4月23日

場所 南町田インドア球's倶楽部
 時間 13:00~18:30
 対象 20代
 大会費 1チーム¥15,000
 参加 14チーム

【協賛して下さった企業】
 アサップネットワーク(株)
 プーマジャパン(株)様
 (株)フォトクリエイイト様
 南町田インドア球's倶楽部様



第5回GLOBE CUP

8月18日

場所 アミノバイタルフィールド
 時間 13:00~20:00
 対象 20代
 大会費 1チーム¥15,000
 参加 26チーム

【協賛して下さった団体】
 アサップネットワーク(株)
 日本エンタープライズ(株)
 ハードオン(有)
 広尾ロータリークラブ
 【協力して下さった企業】
 アディダスジャパン(株)様
 (株)フォトクリエイイト様



第6回GLOBE CUP

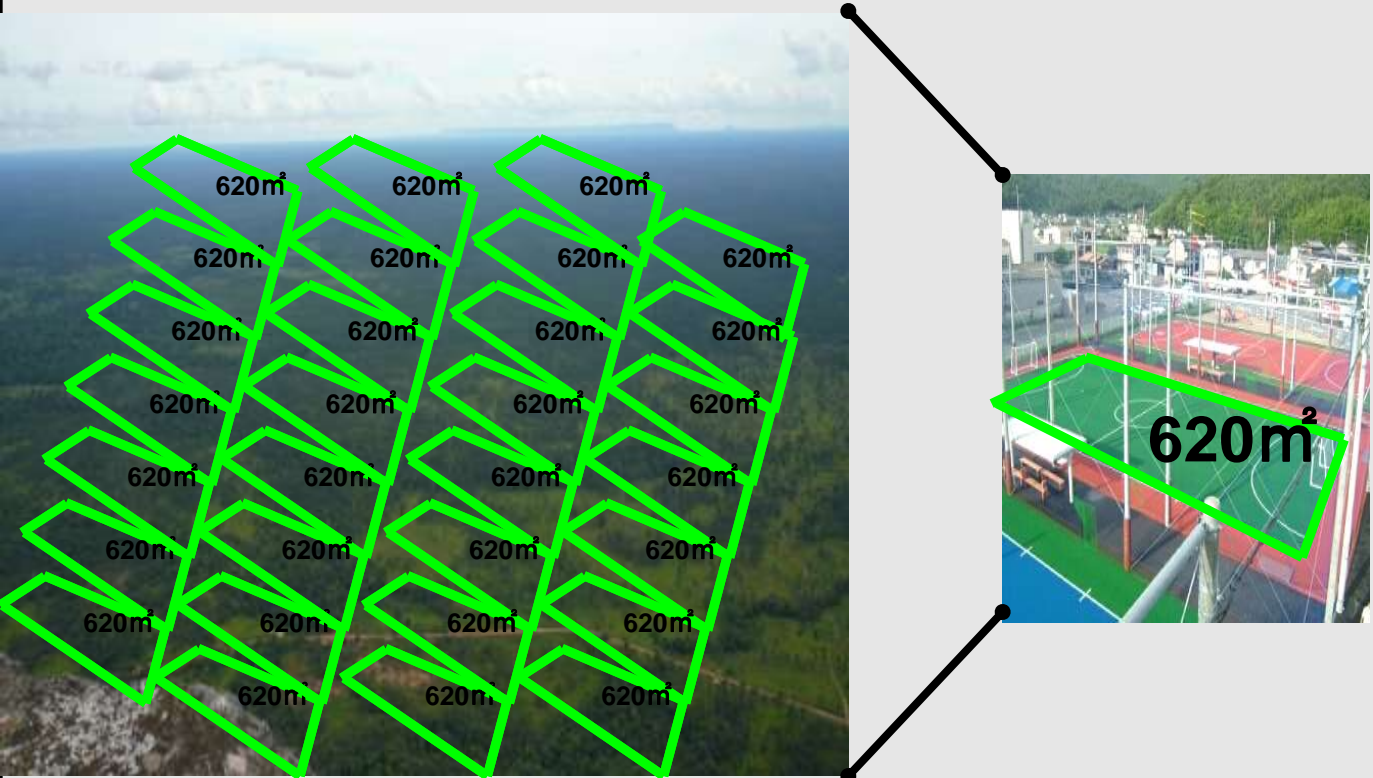
11月2日

場所 早稲田大学記念公堂
 時間 11:00~17:00
 対象 早稲田大学学生
 大会費 ¥0
 参加 24チーム

【協力して下さった団体】
 早稲田大学学生課
 早稲田大学
 スポーツ競技センター



■コート約30面分の地雷原を除去



■除去された地雷原の面積

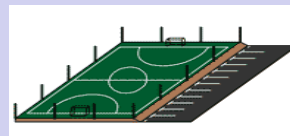
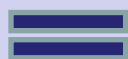
クリック募金と連動し、合計1829340円(2007年9月)を地雷除去団体に渡すことができました。この金額はフットサルコート約30面分の地雷原除去費用となります。

第1・2・3回大会収益と携帯クリック募金合計1303240円の地雷除去費用をCMC(NGOカンボジア地雷除去キャンペーン)へ送りました。

第4・5回大会収益とクリック募金合計340100円を現地地雷除去団体PROに渡しました。第6回大会収益(186000円)は次年度のタイ・カンボジア視察時に渡す予定です。



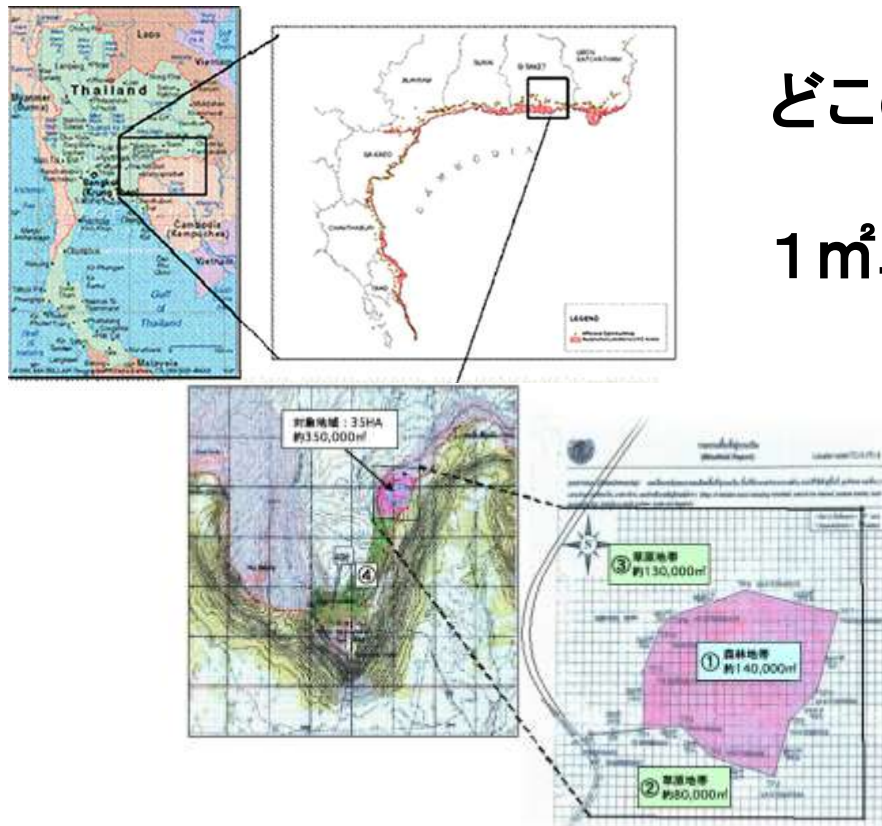
1,829,340



30



8 地雷除去先との関係



どこの地雷原がなくなったかわかる

1㎡単位で地雷原除去位置を提示

- ・現地地雷除去団体NGO『PRO』(元JHADS) (<http://www.pro-foundation.com>)
- ・GPSによる除去現場の提示、月に一度地雷原除去の写真と進捗情報の提示。
- ・2007年9月GLOBEPROJECTメンバーによる現地視察。



私たちの渡したお金が、
具体的にどこの地雷原を無くすのかを
1㎡単位で示すものです。

2007年10月より行われる地雷除去に使われ、
今後PROより定期的に進捗が送られます。

Outline of project

- Object region : Khao Phra Vihan National Park
- Removal Area : 400,000㎡
- Term : 2004.7 ~ 2006.7
- Cost : 1.4 million dollars

9 収支報告書

初年度GLOBE PROJECT収支計算書

| | 第1回大会 | 第2回大会 | 第3回大会 | 第4回大会 | 第5回大会 | 第6回大会 |
|---------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 科目 | 金額 | 金額 | 金額 | 金額 | 金額 | 金額 |
| I. 経常収入の部 | | | | | | |
| 1 事業収入 | | | | | | |
| 1) 大会事業収入 | 198,000 | 234,000 | 120,000 | 210,000 | 390,000 | 0 |
| 2) 講演依頼に伴う収入 | 30,000 | 0 | 0 | 0 | 40,000 | 0 |
| 2 寄付金収入 | | | | | | |
| 1) 携帯クリック募金収入 | 49,128 | 102,951 | 50,229 | 15,550 | 59,057 | 0 |
| 2) 一般個人寄付金収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20,000 | 0 |
| 3) 一般法人寄付金収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 200,000 | 299,758 |
| 4) その他団体寄付金収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 44,489 | 0 |
| 経常収入合計 | 277,128 | 336,951 | 170,229 | 225,550 | 753,546 | 299,758 |
| II. 経常支出の部 | | | | | | |
| 1 事業費 | | | | | | |
| 1) 会場費 | 62,640 | 192,000 | 40,000 | 100,000 | 292,950 | 0 |
| 2) 備品賃借料 | 74,100 | 24,000 | 20,000 | 23,545 | 100,000 | 13,080 |
| 3) 消耗品費 | 26,760 | 14,840 | 14,401 | 12,845 | 46,872 | 8,060 |
| 4) 印刷製本費 | 7,200 | 11,500 | 5,000 | 16,000 | 15,000 | 81,339 |
| 5) 運搬費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 40,000 | 2,680 |
| 6) 雑費 | 69,415 | 19,320 | 2,000 | 1,000 | 83,500 | 12,239 |
| 7) 雑損失 | 5 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 |
| 2 寄付金支出 | | | | | | |
| 1) 地雷除去費 | 65,100 | 62,000 | 43,500 | 110,360 | 165,540 | 186,000 |
| 2) その他 | 0 | 2,000 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経常支出合計 | 305,220 | 325,660 | 124,901 | 263,751 | 743,867 | 303,398 |
| 収支差額 | -28,092 | 11,291 | 45,328 | -38,201 | 9,679 | -3,640 |
| 前回繰越収支差額 | 0 | -28,092 | -16,801 | 28,527 | -9,674 | 5 |
| 次回繰越収支差額 | -28,092 | -16,801 | 28,527 | -9,674 | 5 | -3,635 |

| | | | | | | |
|---------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|-------------|
| 除去費用の内訳 | 651㎡×100円 | 620㎡×100円 | 435㎡×100円 | 620㎡×2×89円 | 620㎡×3×89円 | 620㎡×3×100円 |
|---------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|-------------|



10 パブリシティ

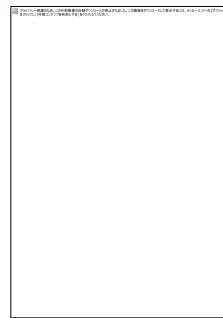
- ・NHK首都圏ネットワークで特集される
(2006年10月26日放映)
- ・読売新聞 社会面にて取材される
(2006年10月20日朝刊)
- ・『フットサルナビ』(白夜書房)にて掲載
(8月15日号)
- ・『STRIKER』(学習研究社)にて掲載
(8月12日発売)
- ・『SPORTIVA』(集英社)にて掲載
(9月25日)
- ・早稲田ウィークリー掲載
(7月19日)
- ・早稲田LINKS HPに取材記事掲載
(4月20日)
- ・フリーペーパー『COLORS』にて特集掲載
(4月10日)
- ・青山学院新聞にて掲載
(7月17日)
- ・高校生新聞にて特集される
(10月号)
- ・TOKYOFM番組SKYに出演
(8月15日)



■『SPORTIVA』(集英社)にて掲載(9月25日)



■『フットサルナビ』(白夜書房)にて掲載(8月15日号)





10-2 パブリシティー

NHK首都圏ネットワークで特集される(2006年10月26日放映)



・ミーティングの様子

・JOGARBOLA様による
Tシャツ無償提供の様子



・大会終了後
メンバーで記念撮影の様子

参加者の声



世界平和にもいいなと参加した



僕らができることで
役に立てればいいなと



こっちも楽しむことで
被害が無くなるのはいい



11 サポーター

球舞、岡田武史氏、北澤豪氏など
サッカー界を代表する方たちが大会をサポート





